



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 名古屋市中区錦二丁目2-13

氏名 株式会社竹中工務店 名古屋支店

執行役員支店長 吉口 勝史

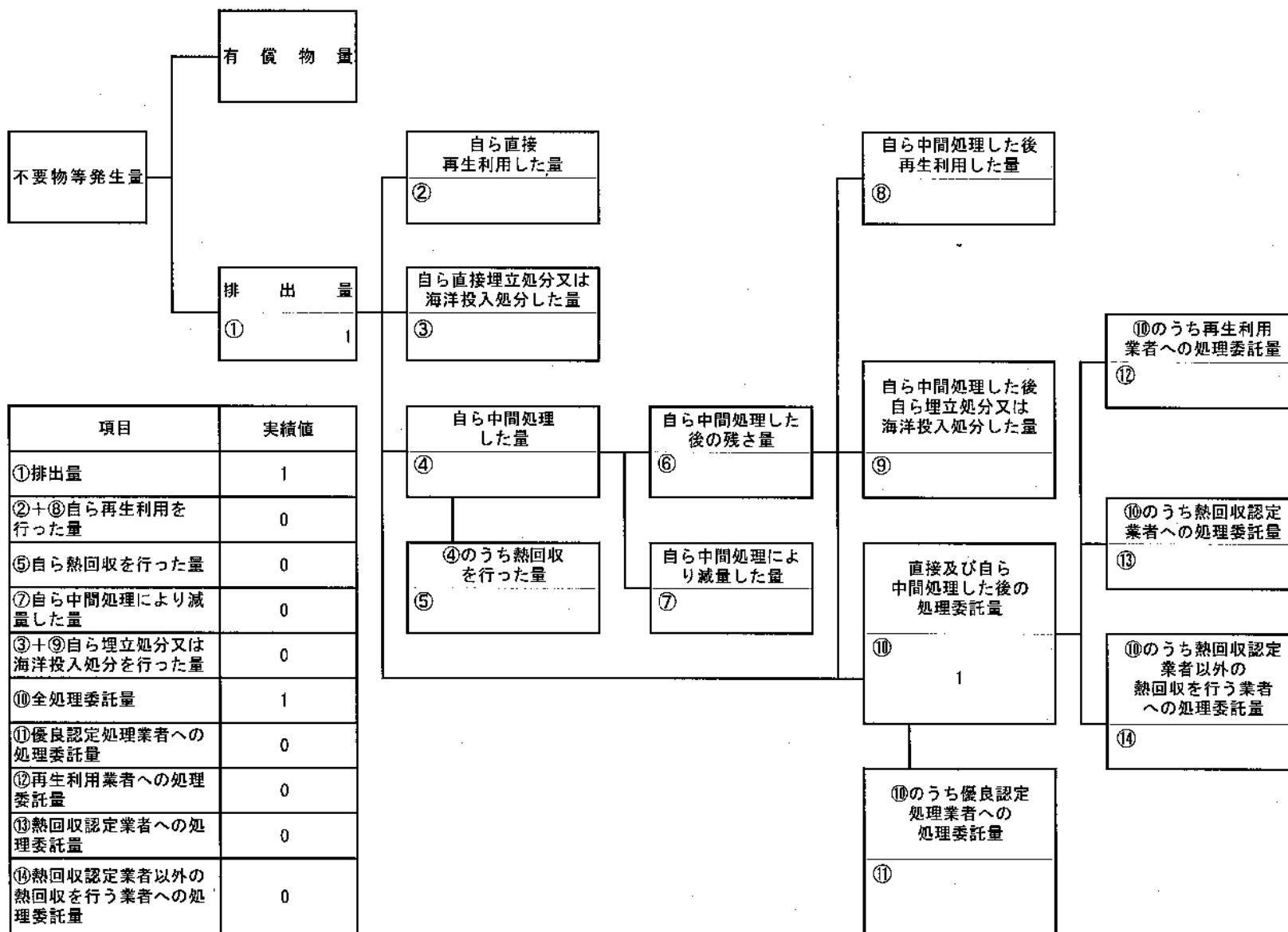
電話番号 052-211-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社竹中工務店 名古屋支店		
事業場の所在地	豊田市内各現場		
事業の種類	06：総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	10,000 t	全処理委託量	10,000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	8,200 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

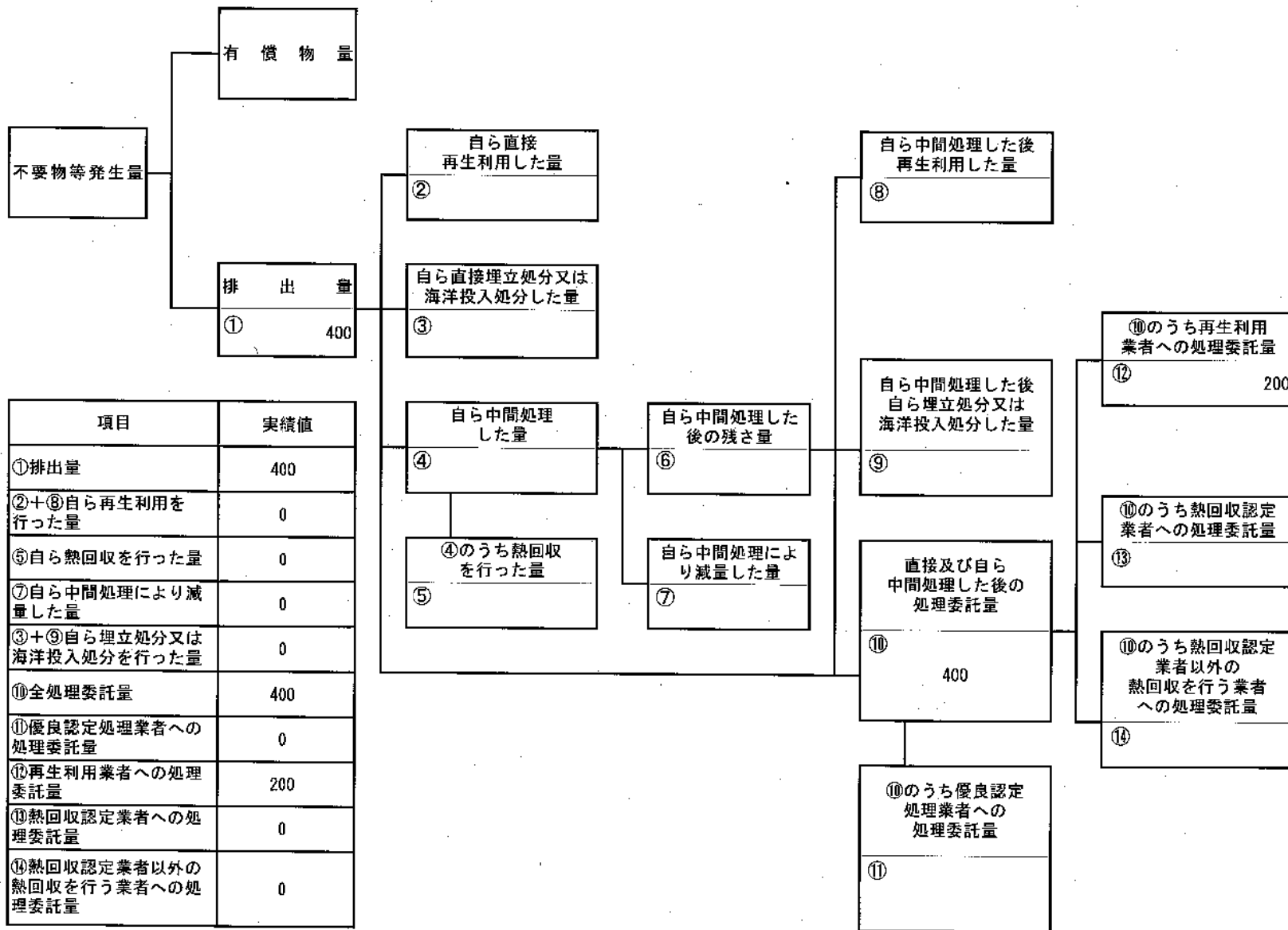
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)



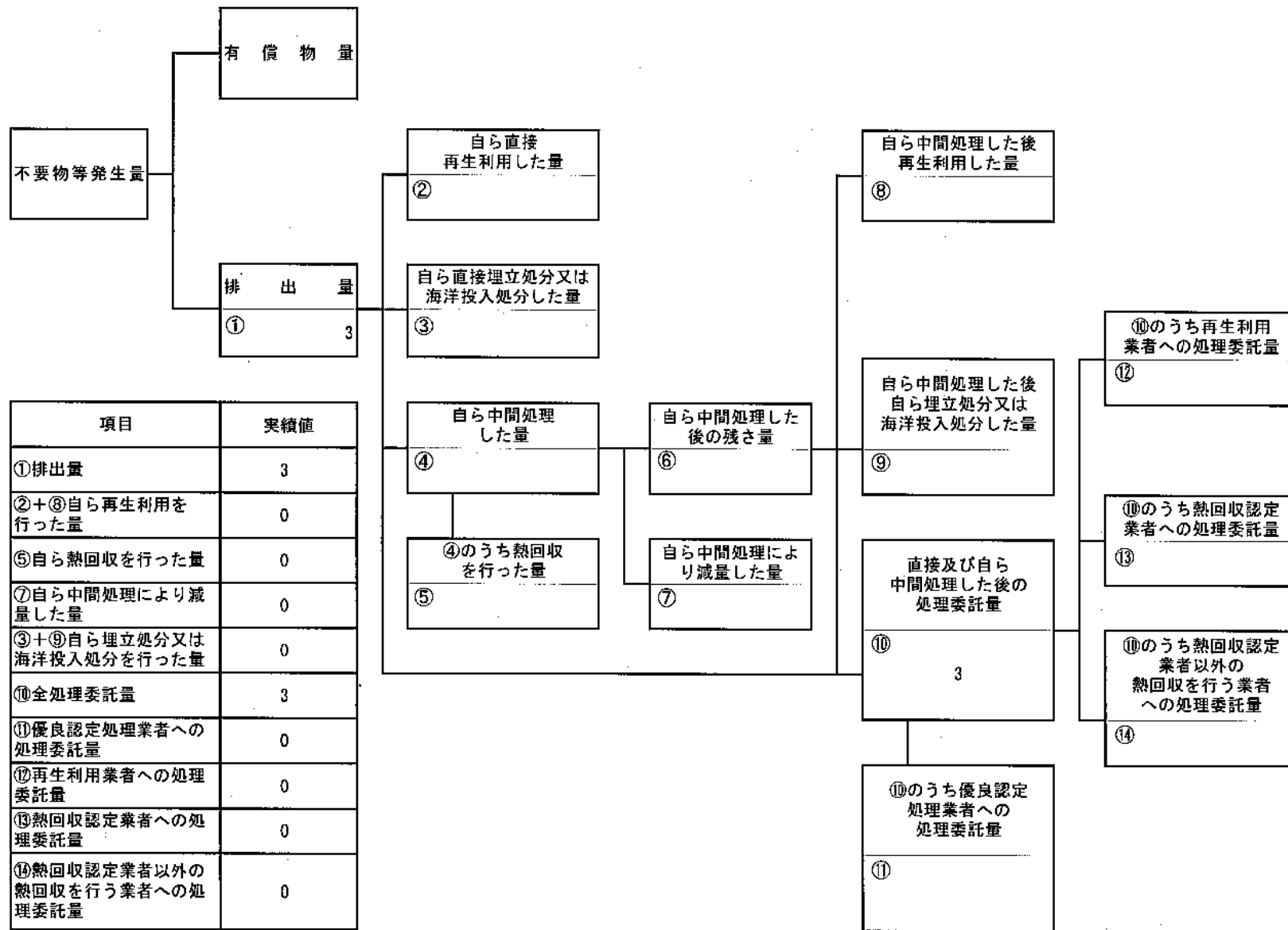
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



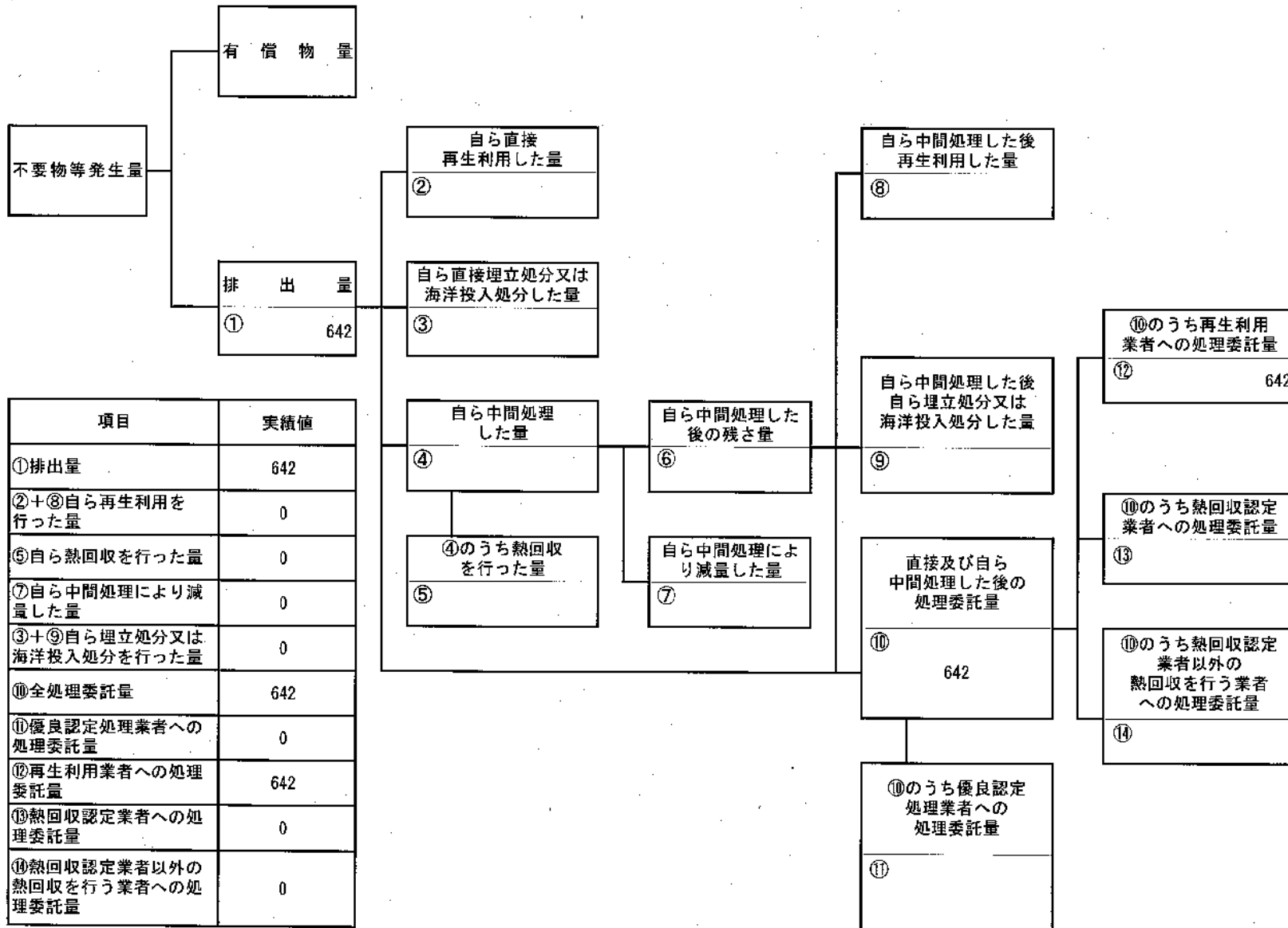
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)



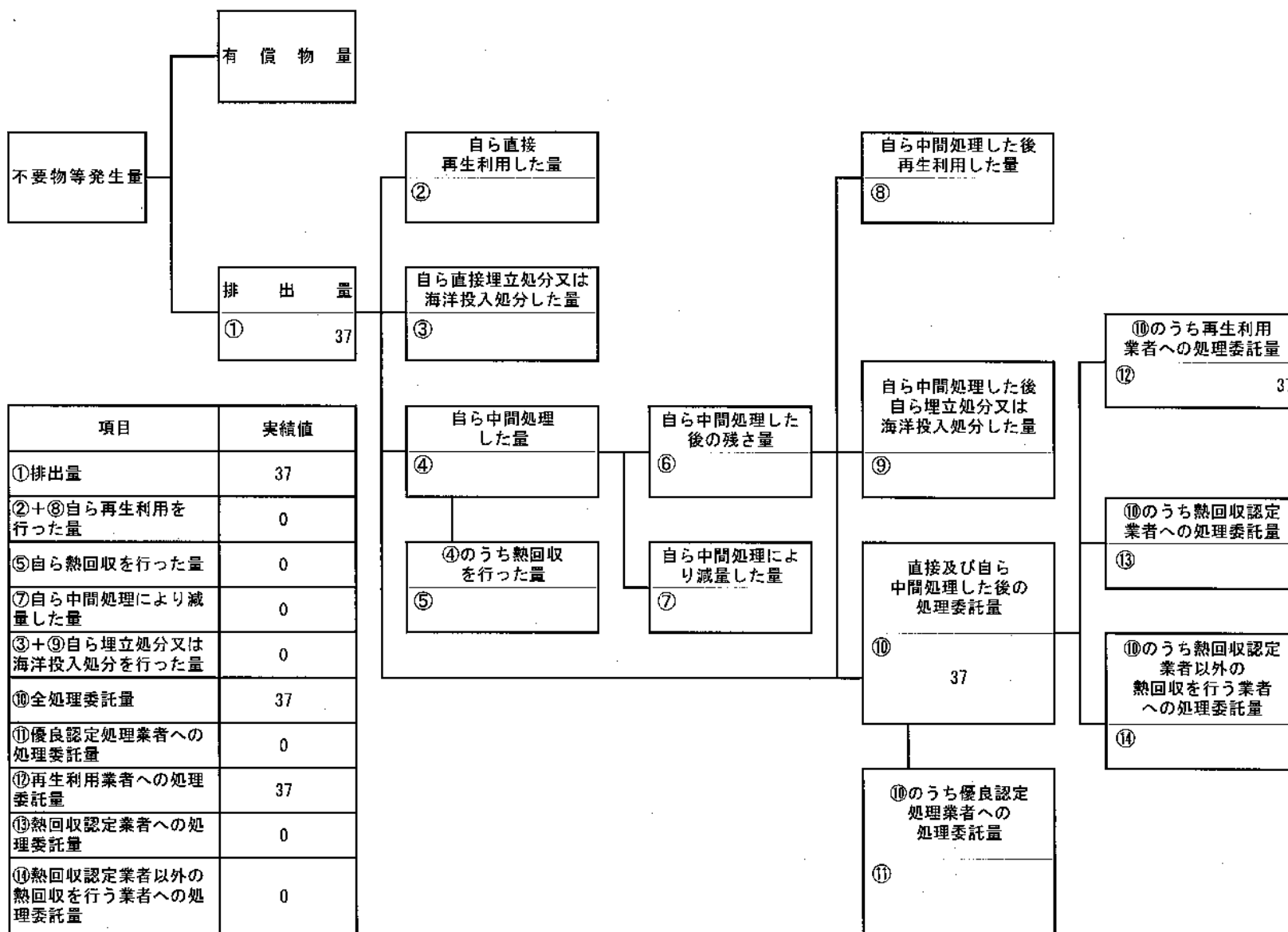
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



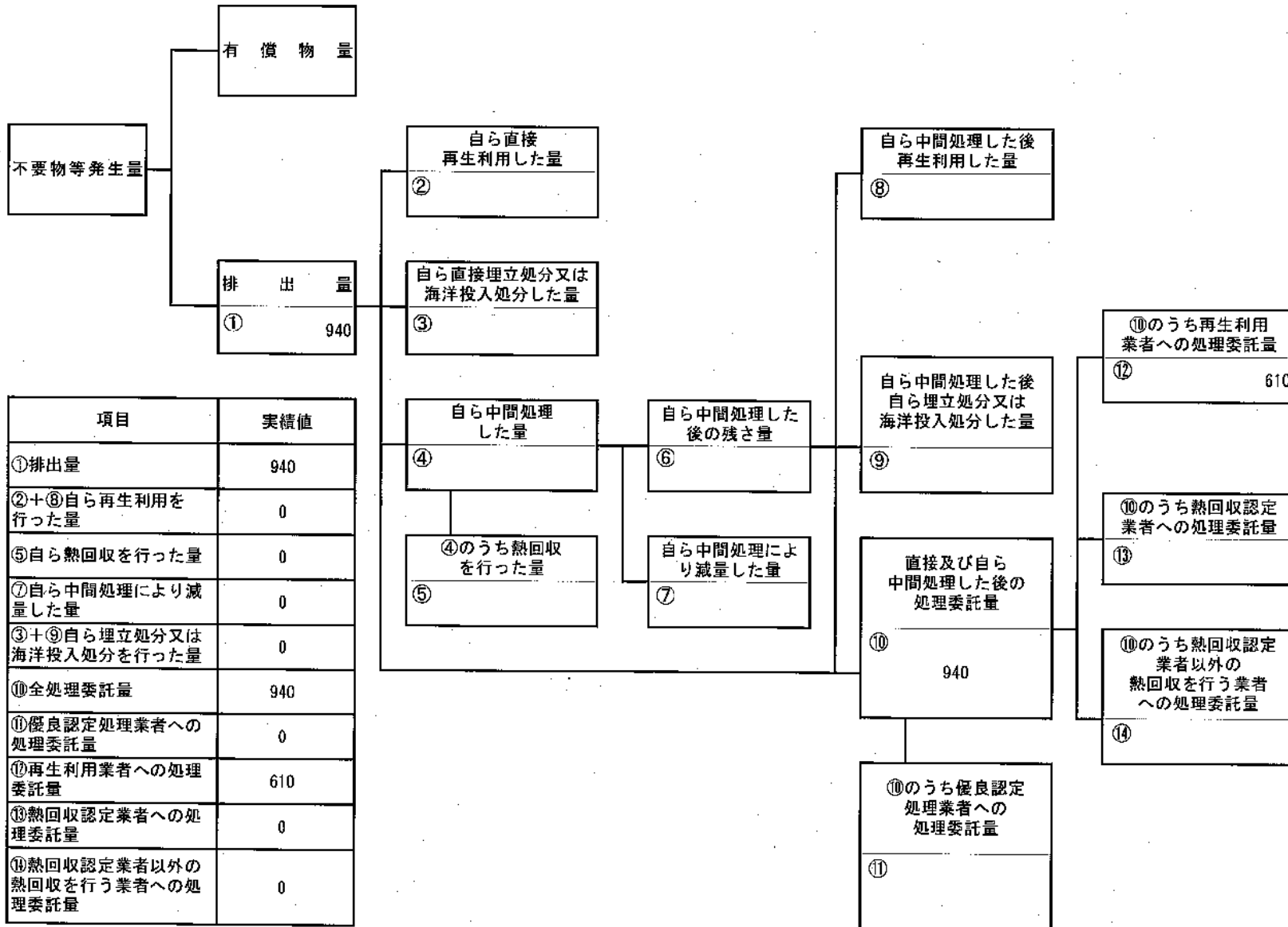
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



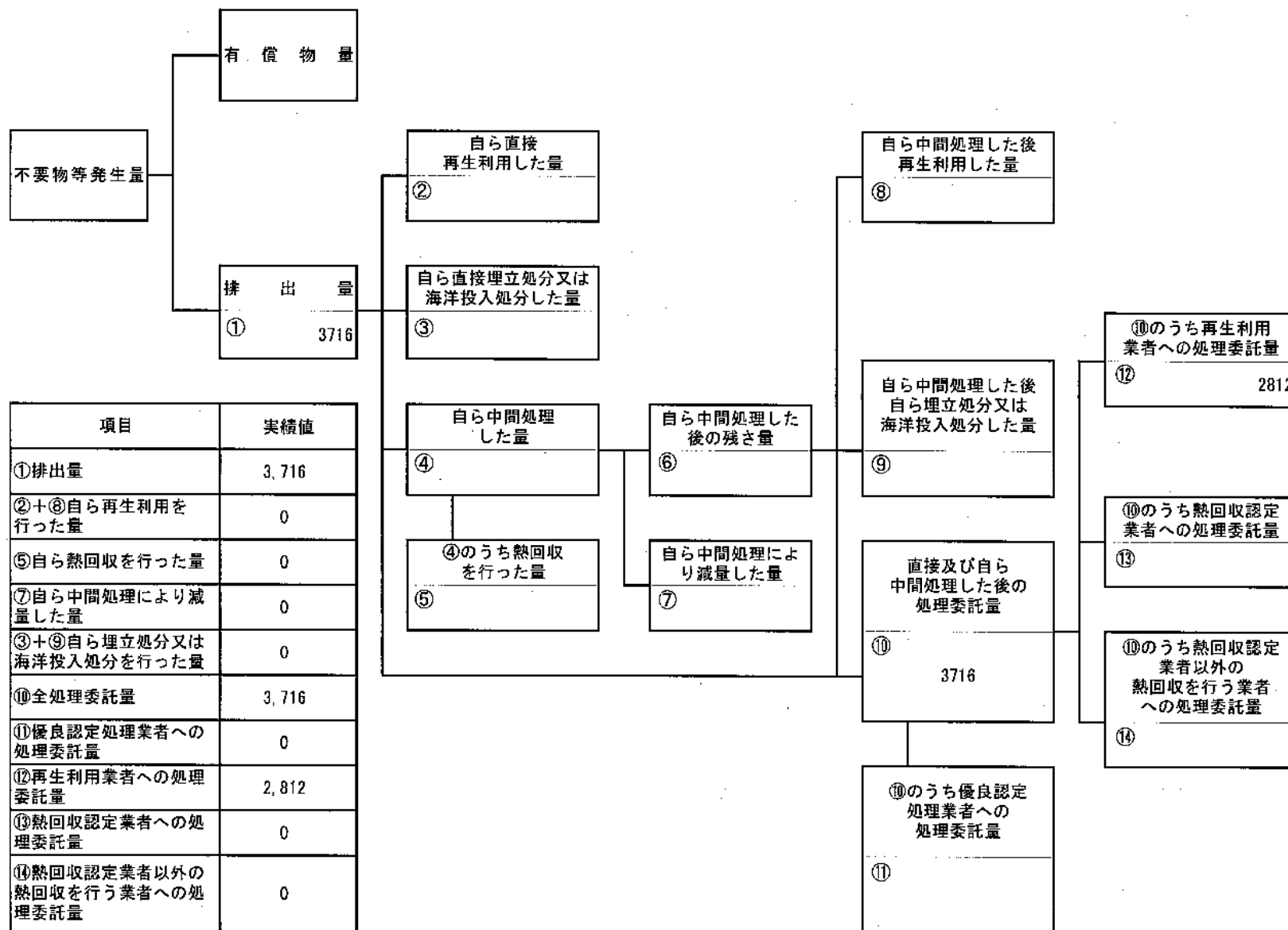
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず)



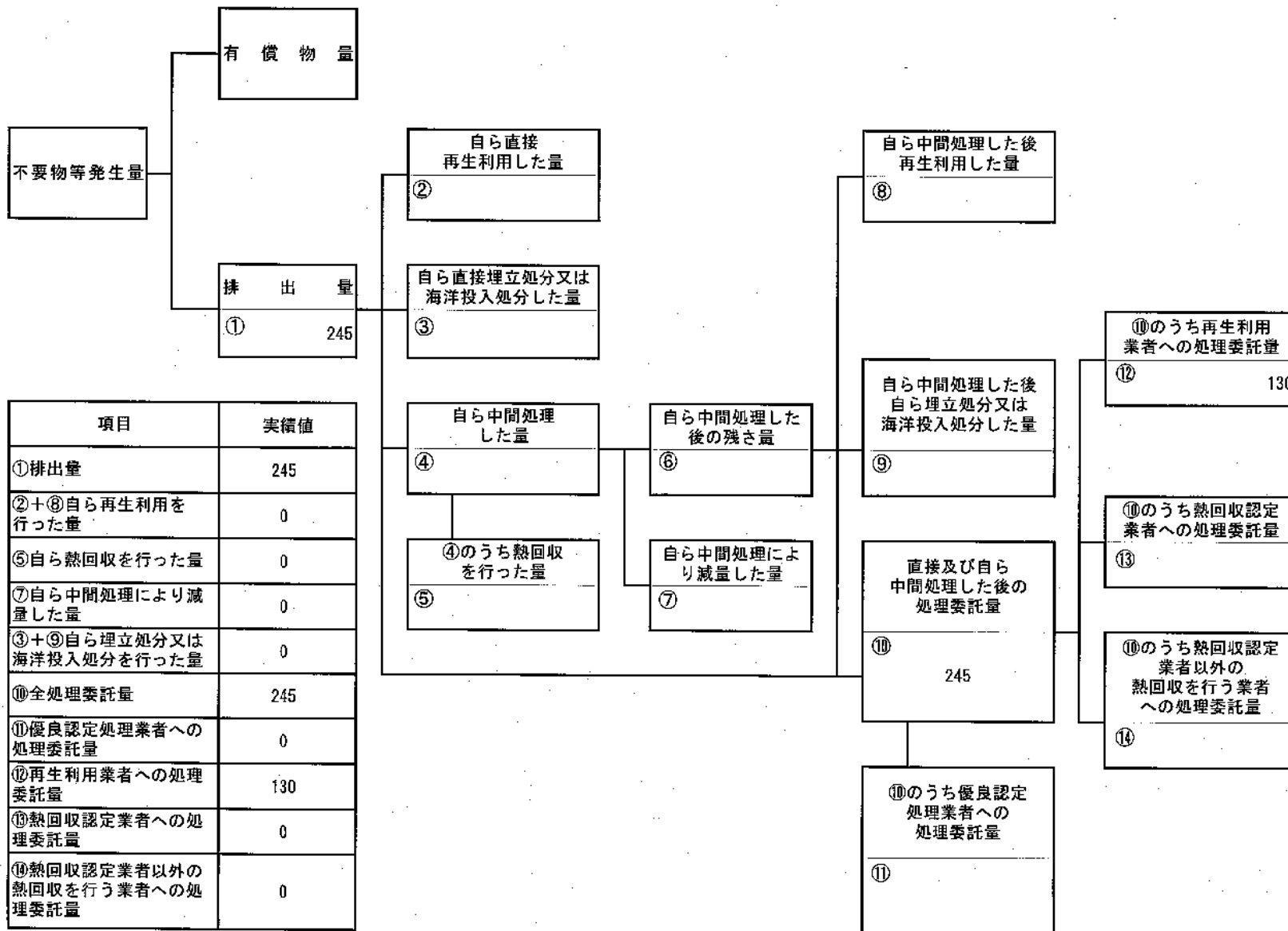
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物（建設混合）)



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社竹中工務店 名古屋支店	従業員数 (人)	1,018	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 安田 元彦	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	601,300	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	080-9931-7135	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (6 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	1	400	3	642	37
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	1	400	3	642	37
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	1	400	3	642	37
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	1	400	3	642	37
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	1	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	1	399	3	642	37
	処理方法	A	C	C	C	C
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	200	3	642	37
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	B	B・C	B・C	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	1	199	0	0	0
	埋立処分先	B 県外	B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0	200	3	642	37
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	0	0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	1	200	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社竹中工務店 名古屋支店	従業員数(人)	1,018	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 安田 元彦	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	601,300	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	080-9931-7135	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物		
				建設混合		
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (6 年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	940	3,716	245		
	b 有償物量(t/年)	0	0	0		
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	940	3,716	245		
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0		
	再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0	0	0		
	処理方法	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0		
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)	0	0	0		
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0	0	0		
	再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0		
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	940	3,716	245		
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	940	3,716	245		
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	19	688	0		
	埋立処分先	A 県内	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	921	3,028	245		
	処理方法	C	C	C	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0	0	0		
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	610	2,812	130		
	再生利用用途	A・D	D	A・B・D	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	311	216	125		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	B 県外	B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	610	2,812	130		
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0	0	0		
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	330	904	125		

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。